

# Livingston サーバ認証を使用する RADIUS ダイアルアップの設定

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[設定](#)

[サーバのクライアントファイル](#)

[サーバ上のユーザファイル](#)

[ユーザライン1 および2向けの Microsoft Windowsセットアップ](#)

[ユーザライン3の向けの Microsoft Windowsセットアップ](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[ルータトラブルシューティング コマンド](#)

[server](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントは、Livingston RADIUS サーバへの認証を使用したダイヤルイン RADIUS 設定の設定およびデバッグについて、新規 RADIUS ユーザを支援します。これは、Cisco IOS® ソフトウェアの RADIUS 機能の完全な説明ではありません。Livingston のドキュメントは Lucent Technologies の Web サイトから入手できます。ルータの設定は、使用するサーバに関係なく同一です。

Cisco は Cisco Secure ACS for Windows、Cisco Secure UNIX、または Cisco Access Registrar の RADIUSコードを提供します。この文書のルータコンフィギュレーションは Cisco IOS Software release 11.3.3 を実行するルータで作成されました。Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0.5.T およびそれ以降は radius の代わりに group radius を使用します。従って、aaa authentication login default radius enable のような文は aaa authentication login default group radius enable として現われます。RADIUS ルータ コマンドの詳細については、Cisco IOS マニュアルの [RADIUS 情報](#)を参照してください。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IOS Software release 11.3.3
- リビングストーンRADIUS

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## 設定

このドキュメントでは次の設定を使用しています。

### ルータの設定

```
!  
aaa new-model  
aaa authentication login default radius enable  
aaa authentication ppp default if-needed radius  
aaa authorization network default radius  
enable password cisco  
!  
chat-script default "" at&fls0=1&hl&r2&c1&d2&ble0q2 OK  
!  
interface Ethernet0  
 ip address 10.29.1.3 255.255.255.0  
!  
!--- CHAP/PPP authentication user: interface Async1 ip  
unnumbered Ethernet0 encapsulation ppp async mode  
dedicated peer default ip address pool async no cdp  
enable ppp authentication chap ! -- PAP/PPP  
authentication user: interface Async2 ip unnumbered  
Ethernet0 encapsulation ppp async mode dedicated peer  
default ip address pool async no cdp enable ppp  
authentication pap ! -- Login authentication user with  
autocommand PPP: interface Async3 ip unnumbered  
Ethernet0 encapsulation ppp async mode interactive peer  
default ip address pool async no cdp enable ! ip local  
pool async 10.6.100.101 10.6.100.103 radius-server host
```

```
171.68.118.101 radius-server timeout 10 radius-server
key cisco ! line 1 session-timeout 20 exec-timeout 120 0
script startup default script reset default modem Dialin
transport input all stopbits 1 rxspeed 115200 txspeed
115200 flowcontrol hardware ! line 2 session-timeout 20
exec-timeout 120 0 script startup default script reset
default modem Dialin transport input all stopbits 1
rxspeed 115200 txspeed 115200 flowcontrol hardware !
line 3 session-timeout 20 exec-timeout 120 0 autoselect
during-login autoselect ppp script startup default
script reset default modem Dialin autocommand ppp
transport input all stopbits 1 rxspeed 115200 txspeed
115200 flowcontrol hardware ! end
```

## サーバのクライアントファイル

注: This assumes Livingston Radius.

```
# Handshake with router--router needs "radius-server key cisco":
10.29.1.3 cisco
```

## サーバ上のユーザファイル

注: This assumes Livingston Radius.

```
# User who can telnet in to configure:
admin Password = "admin"
User-Service-Type = Login-User

# ppp/chap authentication line 1 - password must be cleartext per chap rfc 1994
# address assigned from pool on router
chapuser Password = "chapuser"
User-Service-Type = Framed-User,
Framed-Protocol = PPP

# ppp/pap authentication line 2
# address assigned from pool on router
# Can also have 'Password = "UNIX" which uses /etc/passwd
papuser Password = "papuser"
User-Service-Type = Framed-User,
Framed-Protocol = PPP

# ppp/chap authentication line 1 - password must be cleartext per chap rfc 1994
# address assigned by server
chapadd Password = "chapadd"
User-Service-Type = Framed-User,
Framed-Protocol = PPP,
Framed-Address = 10.10.10.10

# ppp/pap authentication line 2
# address assigned by server
papadd Password = "papadd"
User-Service-Type = Framed-User,
Framed-Protocol = PPP,
Framed-Address = 10.10.10.11

# authentication user line 3
# address assigned from pool on router
# Can also have 'Password = "UNIX" which uses /etc/passwd
```

authauto = "authauto"

User-Service-Type = Login-User

## ユーザライン1 および2向けの Microsoft Windowsセットアップ

注: PC 設定は使用するオペレーティングシステムのバージョンにわずかに基づいて変わることがあります。

1. Start > Programs > Accessories > Dial-Up Networking の順に選択して下さい。
2. 接続の名前を Connections > Make New Connection の順に選択し、入力して下さい。
3. モデム別の情報を入力して下さい。 の下で > 一般選択しましたりモデムの最高速度を、しかしこれの下でチェックしませんボックスを設定して下さい。
4. Configure > Connection の順に選択し、8 データビット、no parity および 1 つのストップ・ビットを使用して下さい。 コール プリファレンスに関しては、200 秒後に接続できない場合は『Wait for dial tone before dialing』を選択し、コールを取り消して下さい。
5. 高度にハードウェアフロー制御だけおよび変調タイプ規格を選択して下さい。
6. の下で > 何も Status Control の下を除いてチェックする必要がないオプション設定して下さい。 [OK] をクリックします。
7. 宛先の電話番号を入力し、そして『Next』 をクリックし、終えて下さい。
8. 新しい接続アイコンが現われたら、それを右クリックし、> サーバタイプ 『Properties』 を選択して下さい。
9. 『PPP』 を選択して下さい: WINDOWS 95 は、WINDOWS NT 3.5、インターネット高度オプションをチェックしないし。 許可されたネットワークプロトコルの下で少なくとも TCP/IP をチェックして下さい。
10. デフォルト ゲートウェイ TCP/IP 設定の下のリモートネットワークの 『Server assigned IP address』 を選択し、サーバの割り当てたネームサーバアドレス使用。 [OK] をクリックします。
11. ユーザが始動にダイヤルするためにアイコンを Connect To ウィンドウ ダブルクリックするときユーザはユーザネームおよび Password フィールドを記入する必要があり次に 『Connect』 をクリックします。

## ユーザライン3の向けの Microsoft Windowsセットアップ

ユーザラインのための設定はユーザ ラインのため 1 および 2.と ( autocommand PPP の認証ユーザ ) 同じです。 例外は設定 > Options ウィンドウからの Bring up terminal window after dialing をチェックすることです。

始動にダイヤルするためにアイコンを Connect To ウィンドウ ダブルクリックするときユーザネームおよび Password フィールドを記入しないで下さい。 [Connect] をクリックします。 ルータへの接続がなされた後、現われる黒い ウィンドウの入力ユーザ名 および パスワード。 認証の後で『Continue ( F7 )』 をクリックして下さい。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

### ルータ トラブルシューティング コマンド

[Output Interpreter Tool](#) ( OIT ) ( [登録ユーザ専用](#) ) では、特定の **show** コマンドがサポートされています。OIT を使用して、**show** コマンド出力の解析を表示できます。

注: [debug](#) コマンドを使用する前に、『[debug コマンドの重要な情報](#)』を参照してください。

- terminal monitor - 現在の端末およびセッションの debug コマンドの出力とシステム エラーメッセージを表示します。
- debug ppp negotiation — PPP オプションがネゴシエートされる PPP 始動の間に送信される PPP パケットを表示します。
- debug ppp packet —送信され、受信される PPP パケットを表示します。(このコマンドは、下位レベルのパケット ダンプを表示します。)
- クライアントが認証を取得するかについて debug ppp chap —情報を表示します(より 11.2) 先の Cisco IOS ソフトウェア リリースのために。
- debug aaa authentication : AAA/TACACS+ 認証に関する情報を表示します。
- debug aaa authorization : AAA/TACACS+ 許可に関する情報を表示します。

## [server](#)

注: これは Livingston の UNIXサーバ コードを使用します。

```
radiusd -x -d <full_path_to_users_clients_dictionary>
```

## [関連情報](#)

- [Livingston サーバ を使用する RADIUS の設定](#)
- [RADIUS に関するサポート ページ](#)
- [Requests for Comments \( RFC \)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)